



畑地帯における直営施工の取組

あかさわ

つなんまち

赤沢水土里の会（新潟県津南町）

- 本地区は、信濃川右岸の河岸段丘に広がる標高420m～600mの農業地帯で、高位部は大区画畑地、低位部は水田であり、魚沼コシヒカリ、雪下ニンジンの地域ブランド作物のほか、大区画畑地を活かして野沢菜等の大規模生産が行われている。
- 豪雪地帯のため、除雪や融雪用水確保等の共同活動が盛んな地域であり、畑団地の農道や排水路も集落の共同活動により管理されている。融雪時における農道の浸食対策や融雪用水としても活用される農業用水路の老朽化対策を直営施工により実施している。

【地区概要】

- ・取組面積 273ha(田77ha、畑196ha)
- ・資源量 開水路 32.7km、農道 40.0km、ため池1箇所
- ・主な構成員
赤沢集落、老人会、PTA、水田組合
- ・交付金 約15百万円(H29)
農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化)

地域の現状

- 本地区は、信濃川右岸の河岸段丘に広がる標高420m～600mの農業地帯で、積雪3mを超える豪雪地帯である。高位部は、国営総合農地開発事業で造成された大区画畑地、低位部は国営農地再編整備事業で整備された水田である。
- 魚沼コシヒカリ、雪下ニンジンの地域ブランド作物のほか、大区画畑地を活かして野沢菜、アスパラ、スイートコーン、キャベツ等の大規模生産が行われている。
- 積雪3mを超える豪雪地帯ため、除雪作業、融流雪用水確保など共同活動が盛んな地域であり、国営事業で造成された畑団地の農道や排水路も、集落の共同活動により管理されている。
- 農道の大部分が砂利道であり、融雪や豪雨による路面浸食や泥濘化、また、冬期の融雪用水の機能を兼ねる農業用水路の老朽化により漏水が発生している。

直営施工による保全活動

○農道の補修

- ・大規模農家が所有する重機で路盤を補修



- ・集落共同でのコンクリート打設作業



○老朽化した水路の補修

- ・融流雪用水としての利用



- ・水路のコルゲートパイプ化などによる漏水対策

